

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 委員の辞任	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	2
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	2
5 課題別委員会の開催とその議題	12
6 サイエンスカフェの開催	13
7 総合科学技術会議報告	14
8 慶弔	14
9 インパクトレポート	15

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
12月19日(木)	総合科学技術会議有識者会合	大西会長
12月23日(月)	天皇誕生日宴会の儀	小林副会長
12月26日(木)	総合科学技術会議有識者会合	大西会長
1月6日(月) ～9日(木)	FutureEarth グローバル事務局最終提案書関係機構調整会合(フランス パリ)	春日副会長
1月10日(金)	講書始の儀	大西会長、 小林副会長
1月13日(月) ～14日(火)	STS フォーラム評議員会(アメリカ ワシントン D.C.)	大西会長
1月23日(木)	シンポジウム「世界結晶年オープニングシンポジウム」(講堂)	大西会長
1月23日(木)	駐日 EU 代表部の New Year Reception (欧州連合代表部・EU 大使公邸)	大西会長
1月23日(木)	ワイツマン科学研究所副所長、イスラエル・バルヨセフ教授を囲んでの夕食会、及び意見交換会(イスラエル大使公邸)	春日副会長
1月27日(月)	これからの環境教育・研究に関する意見交換会(東北大学) ※講演	春日副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

2 委員の辞任

- 化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会
小宮山 宏(平成25年12月5日付)
- 情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会 WDA小委員会
岩淵 洋(平成25年12月18日付)
- 電気電子工学委員会 URSI分科会 無線通信システム信号処理小委員会
田島 健一(平成26年1月10日付)

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

なし

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 科学研究における健全性の向上に関する検討委員会 (第4回) (12月17日)

①提言(案)について ②その他

(2) 科学者に関する国際人権問題委員会 (第5回) (12月24日)

①平成26年度代表派遣会議の推薦について

(3) 若手アカデミー委員会 (第22回) (12月25日)

①サイエンスアゴラ企画の報告
②学術の未来検討分科会の審議状況について
③若手研究者ネットワーク検討分科会の審議状況について
④若手科学者アジア会議について
⑤次期若手アカデミーについて ⑥その他

(4) 若手アカデミー委員会 若手研究者ネットワーク検討分科会 (第5回) (12月25日)

①前回の議事要旨について ②その他

(5) フューチャー・アースの推進に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会 (第1回) (1月14日)

①委員長の選出、副委員長、幹事の指名
②分科会における課題及び運営について ③その他

(6) 原子力利用の将来像についての検討委員会 原子力発電の将来検討分科会 (第6回) (1月23日)

①田中知教授によるご講演 ②今田高俊教授によるご講演
③今後の審議の進め方について ④その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学と社会委員会 課題別審議検討分科会 (第18回) (12月17日)

①高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会分科会の

設置及び分科会委員の決定について

(2) 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 (第26回) (1月9日)

①マスタープラン2014に関する検討 ②その他

(3) 科学者委員会 広報分科会 (第24回) (1月10日)

①日本学術会議の広報活動について ②『学術の動向』への編集協力について
③その他 (第36回科学者委員会の報告を含む)

(4) 科学者委員会 (第37回) (1月27日)

①第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定について
②その他

(5) 科学者委員会 男女共同参画分科会 (第10回) (1月27日)

①男女共同参画に関する学協会ヒアリング、大学アンケート調査の経過報告について
②報告書作成の検討について ③シンポジウムの実施検討について ④その他

(6) 科学者委員会 学術誌問題検討分科会 (第11回) (1月27日)

①最近のOA化の動きについて ②シンポジウムの開催について ③その他

(7) 選考委員会 (第10回) (1月28日)

①前回の議事要旨の確認
②平成26年10月の会員及び連携会員の改選に向けて ③その他

(8) 国際委員会 (第33回) (1月29日)

①平成26年度代表派遣に係る旅費の配分計画(案)について
②持続国際会議2014について ③国内会議の後援について
④2014年バルザン賞の推薦について
⑤日本学術会議における国際活動、国際委員会関係会合の活動状況について
⑥その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 社会学委員会 メディア・文化研究分科会 (第7回) (12月17日)

①アーカイブ化に関する「提言」の検討 ②その他

(2) 社会学委員会 東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会 (第12回) (12月19日)

- ①東日本大震災・福島第一原発事故の除染について
- ②東日本大震災・福島第一原発の自治体再建について
- ③提言の準備について ④その他

(3) 心理学・教育学委員会 脳と意識分科会 (第5回) (12月20日)

- ①脳と意識についての話題提供 (岡ノ谷委員・利島委員)
- ②来年の合同シンポジウムのテーマの候補について
- ③学術の大型研究計画「融合的社会脳研究センター構想」について
- ④その他

(4) 経済学委員会 人口変動と経済分科会 (第7回) (12月20日)

- ①人口変動と経済分科会のまとめとしての、活動実績の広報について
塩路氏、鬼頭氏と討議
- ②その他

(5) 社会学委員会 社会学分野の参照基準検討分科会 (第5回) (12月21日)

- ①「社会学を学ぶ学生が身につけるべき基本的素養をどう考えるか」についての前回の討議を踏まえた原案の検討
- ②その他の検討項目の整理と執筆分担者の割り振り
- ③その他 ④次回の分科会の日程について

(6) 心理学・教育学委員会 実験社会科学分科会 (第4回) (12月23日)

- ①今年度の活動報告 ②来年度の活動予定 ③その他

(7) 社会学委員会 社会理論分科会 (第8回) (12月23日)

- ①第22期社会理論分科会報告について ②その他

(8) 社会学委員会 社会統計アーカイブ分科会 (第8回) (12月25日)

- ①提言の作成について ②その他

(9) 史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会 (第8回) (12月26日)

①提言作成について

- ・これまでの経過報告と方向性
- ・WGからの報告
- ・全体の検討

②次期学術会議の会員・連携会員の推薦について ③その他

(10) 心理学・教育学委員会 社会のための心理学分科会 (第3回) (12月26日)

- ①諸学会との共催シンポジウムについて ②今後の活動方針について
③その他

(11) 地域研究委員会 多文化共生分科会 (第8回) (12月26日)

- ①森茂岳雄「初等・中等教育における多文化共生教育の現状と将来」
②報告について ③その他

(12) 経営学委員会 経営学大学院教育のあり方検討分科会 (第2回) (12月26日)

- ①今後の活動について ②その他

(13) 第一部 国際協力分科会 (第9回) (1月11日)

- ①シンポジウム事前打ち合わせ ②その他

(14) 地域研究委員会 人文・経済地理と地域教育分科会 (第7回) (1月12日)

- ①公開シンポジウム「地域の再生と国のかたち」について ②その他

(15) 法学委員会 ソーシャル・レジリエンスと法分科会 (第5回) (1月13日)

- ①報告：牟田和恵 ②今後の予定 ③その他

(16) 社会学委員会 討論型世論調査分科会 (第3回) (1月17日)

- ①討議用資料監修者インタビュー結果の報告
②高レベル放射性廃棄物処理を巡る論点、及び討議用資料、アンケート調査票(案)について
③小規模試行WEB討議実験の進め方について
④今後の作業スケジュールについて

(17) 地域研究委員会 人類学分科会 (第4回) (1月18日)

- ①学士課程教育分野別質保証について ②人類学の普及について ③その他

(18) 史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会 (第10回) (1月20日)

- ①「教養教育は何の役に立つのか」シンポジウムの反省と今後の展望
②「大学における教養教育とジェンダー」をどのように議論していくか
③複合ジェンダー領域シンポジウム (2月、5月) について
④その他

(19) 地域研究委員会 国際地域開発研究分科会 (第8回) (1月22日)

- ①編著書に関する報告と討論 ②その他

(20) 社会学委員会 東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会 (第13回) (1月24日)

- ①震災被災地の産業復興と生活再建について
②提言の準備について ③その他

(21) 社会学委員会 社会学コンソーシアム分科会 (第9回) (1月26日)

- ①報告 (i) 本日のシンポジウム
(ii) その他
②審議 (i) 英文論文執筆ワークショップについて
(ii) SOF-J 投稿規定について
(iii) SOF-J 規約について
(iv) SOF-J 趣意書について
(v) その他

(22) 経営学委員会 高齢者の社会参画のあり方に関する検討分科会 (第7回) (1月26日)

- ①分科会報告書の作成へ向けての検討 ②その他

(23) 法学委員会 「学術法制」分科会 (第6回) (1月26日)

- ①フランスの学術法制 ②その他

(24) 政治学委員会 政治学分野の参照基準検討分科会 (第5回) (1月28日)

- ①参照基準案の検討 ②その他

(25) 社会学委員会 少子高齢社会分科会 (第2回) (1月29日)

①各委員からの問題提起と報告 ②シンポジウムの企画について ③その他

第二部担当

(1) 農学委員会・食料科学委員会合同 農学分野の参照基準検討分科会 (第5回) (12月26日)

①各分野担当者からの報告と意見交換 ②報告書の素案について
③今後の分科会の運営について ④その他

(2) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 生態科学分科会 (第4回) (1月6日)

①日本学術会議活動報告
②生態科学分野での今後伸ばして行くべき分野について
・地球環境科学としての生態学
・生理学・分子生物学との接点
③今後の生態科学分科会の活動について ④その他

(3) 心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会 (第13回) (1月7日)

①成育コミュニティの課題と提言について ②その他

(4) 食料科学委員会 畜産学分科会 (第8回) (1月9日)

①報告事項

- (1) 前回分科会以後の報告
- (2) 日本畜産学アカデミー組織化
- (3) その他

②審議事項

- (1) 平成25年度の取り組み
- (2) 公開講演会の開催
- (3) その他

(5) 薬学委員会 生物系薬学分科会 (第5回) (1月10日)

①次回のシンポジウムについて ②その他

(6) 農学委員会 農業生産環境工学分科会 (第8回) (1月20日)

- ①各分野（WG）の報告 ②シンポジウムと提言・報告について
- ③今後の活動について ④その他

(7) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同 植物科学分科会（第4回）（1月20日）

- ①ABS問題について ②名古屋議定書に関する環境省との意見交換について
- ③その他

(8) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会合同 遺伝資源分科会（第2回）（1月20日）

- ①ABS問題について ②名古屋議定書に関する環境省との意見交換について
- ③その他

(9) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同 バイオインフォマティクス分科会（第6回）（1月20日）

- ①報告事項：若手研究者による小委員会に関して経緯説明
- ②22期の提言などの作成に関して
- ③23期学術会議会員候補者、連携会員候補者の推薦に関して ④その他

(10) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同 自然史・古生物学分科会（第7回）（1月22日）

- ①自然史博物館構想の経過報告 ②自然史財の文化財化検討分科会の動向
- ③次期会員、連携会員の推薦について ④22期のとりまとめについて
- ⑤その他

(11) 農学委員会 林学分科会（第5回）（1月24日）

- ①提言・報告等の発出について
- ②農学分野の参照基準検討分科会の動き
- ③総会報告（第22期学術大型研究計画等）
- ④公開シンポジウム「福島原発事故による放射能汚染と森林・木材 Part II」の打ち合わせ

(12) 健康・生活科学委員会 高齢者の健康分科会（第4回）（1月27日）

- ①第22期高齢者の健康分科会の活動報告について ②その他

第三部担当

(1) 化学委員会・総合工学委員会・機械工学委員会・電気電子工学委員会・
材料工学委員会合同 マイクロ・ナノエンジニアリング分科会 (第4回)
(12月19日)

- ①インフラ保全の課題 ②原田 博司 (NICT ユビキタスマバイルグループ室長)
- ③国見 敬 (曙ブレーキ工業 (株) 新規事業部シニアエキスパート)
- ④小林 彬 (次世代センサ協議会) ⑤その他

(2) 土木工学・建築学委員会 地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への
対応分科会 (第7回) (12月20日)

- ①小委員会の立ち上げと活動について
- ②22期の提言の作成について ③その他

(3) 数理学委員会 数理統計学分科会 (第4回) (12月24日)

- ①数理統計学分野からの提言内容と文案について
- ②理学・工学分野における科学・夢ロードマップについて

(4) 化学委員会 各分科会合同分科会 (12月25日)

- ①化学会の最近の活動について 玉尾 皓平
- ②教育再生会議の活動より 川合真紀
- ③総合科学技術会議の近況より 橋本 和仁
- ④分科会報告
 - 1. 化学企画分科会 栗原 和枝 2. IUPAC 分科会 山内 薫
 - 3. IUCr 分科会 世界結晶年の活動について 高田 昌樹
 - 4. その他の分科会より
- ⑤その他

(5) 情報学委員会 E-サイエンス・データ中心分科会 (第4回) (12月26日)

- ①北川委員長の挨拶、必要事項・日程確認
- ②坂田先生のご講演、質疑
「データ中心科学を活かす社会システム構築と人材育成戦略」
- ③ビッグデータ時代の育成に関する報告または提言内容に関する審議

(6) 電気電子工学委員会 電気電子工学分野の参照基準検討分科会 (第3回)
(12月26日)

- ①参照基準の各項目で述べるべき重要なキーワードの検討

②今後の進め方について

(7) 地球惑星科学委員会 地球惑星科学企画分科会 (第13回) (12月26日)

- ①学術会議・第3部動向 ②各分科会・小委員会報告
- ③連合報告 (含夢ロードマップ) ④連合大会ユニオンセッション
- ⑤大型研究計画 ⑥提言 ⑦次期会員・連携会員推薦 ⑧その他

(8) 地球惑星科学委員会 (第6回) (12月26日)

- ①学術会議・第3部動向 ②各分科会・小委員会報告 ③連合報告
- ④夢ロードマップ ⑤大型研究計画 ⑥提言 ⑦次期会員・連携会員推薦
- ⑧その他

(9) 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会 (第5回) (12月27日)

- ①夢ロードマップの審議 ②大学教育質保証の分野別参照基準の審議
- ③制御・パワー工学報告書の審議 ④その他

(10) 総合工学委員会 原子力事故対応分科会 (第14回) (12月27日)

- ①「原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会」からの報告
- ②「福島第一原発事故調査に関する小委員会」からの報告
- ③提言・報告ドラフト内容についての議論
- ④今後の進め方についての議論 ⑤その他

(11) 地球惑星科学委員会 I G U分科会 (第7回) (1月6日)

- ①K R C 2 0 1 3 京都国際地理学会議：財務報告
- ②ポーランド2014年 I G U 会議：ブース関係
- ③地理オリンピック ④ I G U の動静 ⑤ I A G 関係 ⑥ I C A 関係
- ⑦今後の I G U 分科会の活動方針 ⑧その他

(12) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 I F A C 分科会 (第6回) 及び I F A C 2 0 2 0 世界大会準備小委員会 (第1回) 合同会議 (1月6日)

- ①小委員会の委員長、副委員長、幹事の選出
- ② I F A C 2 0 2 0 世界会議招請活動について ③その他

(13) 機械工学委員会 ロボット学分科会 (第7回) (1月6日)

- ①今期のまとめ方の議論 ②今後のスケジュール ③その他

(14) 物理学委員会・総合工学委員会合同 IUPAP分科会 (第3回) (1月6日)

- ① IUPAP C&CC Meeting 報告
- ② IUPAP WG報告 ③今後の活動について ④その他

(15) 物理学委員会 IAU分科会 (第8回)・物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会 (第10回) 合同分科会 (1月6日)

【IAU分科会】

- ① AU関連の諸報告 ② IAU分科会のアウトリーチ活動について
- ③その他

【天文学・宇宙物理学分科会】

- ①次期学術会議会員、連携会員について
- ②天文学・宇宙物理学分野の中規模計画
- ③大型計画フォローアップ (SPICA、SKA)
- ④新規中規模計画について (SGMAP) ⑤その他

(16) 物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会 (第6回) (1月7日)

- ①物性研究所協議会委員候補者の選出
- ②総合工学委員会との合同シンポジウムについて ③22期提言文案について

(17) 土木工学・建築学委員会 土木工学・建築学企画分科会 (第11回) (1月9日)

- ①各分科会の活動状況報告
- ②理学・工学分野における科学・夢ロードマップ2014の件
- ③次期 (第23期) の分科会構成 (継続・新規) などについて
- ④その他 (シンポジウムの案内など)

(18) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第9回) (1月9日)

- ①報告書案についての審議
- ②シンポジウムの企画についての最終判断 ③その他

(19) 総合工学委員会 サービス学分科会 (第4回) (1月10日)

- ①話題提供 椿 広計先生 高安 秀樹先生 ②夢ロードマップ作成
- ③分科会活動方針 ・シンポジウム計画 ④その他

(20) 地球惑星科学委員会 INQUA分科会 (第4回) (1月11日)

- ① 2014年 INQUA 執行委員会対応
- ② 2015年名古屋大会の準備状況について
- ③ 2014年の活動について ④その他

(21) 土木工学・建築学委員会 大学等教育・キャンパス整備に関する検討分科会 (第8回) (1月17日)

- ① キャンパスアンケート結果についての検討
- ② 提言案についての討議 ③ 今後の予定

(22) 電気電子工学委員会 電気電子工学分野の参照基準検討分科会 (第4回) (1月20日)

- ① 報告書に記載すべき事項(キーワード等)に関する議論の深化
- ② 報告書取りまとめのスケジュールについて

(23) 土木工学・建築学委員会 デザイン等の創造性を喚起する社会システム検討分科会 (第11回) (1月21日)

- ① 提言案ないしは提言目次案についての討議 ② 今後の予定

(24) 環境学委員会 都市と自然と環境分科会 (第5回) (1月21日)

- ① 提言のとりまとめについて ② その他

(25) 化学委員会 IUCr 分科会 (第7回)・化学委員会・物理学委員会合同 結晶学分科会 (第7回) 合同分科会 (1月23日)

- ① 世界結晶年の運営について ② その他

(26) 土木工学・建築学委員会 国土と環境分科会 (第9回) (1月24日)

- ① 次回、ワークショップの進め方について ② その他

(27) 環境学委員会 環境政策・環境計画分科会 (第13回) (1月24日)

- ① 提言のとりまとめについて ② その他

(28) 数理学委員会 数学教育分科会 (第4回) (1月24日)

- ① 「提言」について ② その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会 (第3

回) (12月19日)

- ①ヒアリング 田中 知氏 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- ②分科会の運営について ③次回以降の委員会の進め方 ④その他

(2) 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会 (第3回) (12月27日)

- ①課題1、2についての議論 ②課題3、4、5の提言構成について
- ③今後の審議の進め方について ④その他

(3) 我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会 (第3回) (12月27日)

- ①委員からの報告 ②論点整理 ③参考人からの報告
- ④提言のまとめの方向性の検討 ⑤今後の審議の進め方について ⑥その他

(4) 日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会 (第4回) (1月9日)

- ①プログラム評価の方法について ②今後の審議の進め方について
- ③その他

(5) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会 暫定
保管に関する技術的検討分科会 (第1回) (1月27日)

- ①各委員自己紹介 ②委員長選出、副委員長、幹事の指名承認
- ② 科会設置提案書の説明
- ③ 科会において審議すべき課題及び分科会の今後の運営について ⑤その他

(6) 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会 暫定
保管と社会的合意形成に関する分科会 (第1回) (1月29日)

- ①各委員自己紹介 ②委員長選出、副委員長、幹事の指名
- ③分科会設置提案書の説明
- ④分科会において審議すべき課題及び分科会の今後の運営について ⑤その他

6 サイエンスカフェの開催

日 時：1月17日 (金) 18:30～20:30

場 所：サロン・ド・FUZAMBO Folio

テーマ：「東電福島原発事故による環境汚染の大規模調査とリスク評価について」

ゲスト：柴田 徳思 (日本学術会議連携会員、公益社団法人日本アイソトープ

協会常務理事)

コーディネーター：室伏 きみ子（日本学術会議会員、お茶の水女子大学名誉教授）

日 時：1月17日（金）19：00～20：30

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）

テーマ：「宇宙の果ての向こう」

ゲスト：村山 斉（日本学術会議連携会員、アメリカ芸術科学アカデミー会員、カリフォルニア大学バークレイ校物理学教授、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構長）

コーディネーター：黒田玲子（日本学術会議会員、東京理科大学総合研究機構教授）

7 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

12月17日 第3回次世代インフラ・復興再生戦略協議会

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

12月19日 出席

12月26日 休会

1月 9日 出席

1月16日 欠席

1月23日 出席

8 慶弔

・慶事

【日本国際賞】

末松 安晴（会員（第17-19期）、連携会員（第20期））

・ご逝去

中島 省吾（なかじま せいご） 12月24日 享年91歳

元会員（第14, 16-17期） 元フェリス女学院理事長、国際基督教大学名誉教授

尾関 雅則（おぜき まさのり） 1月1日 享年89歳
元会員（第15期） 元国鉄常務理事、元鉄道総合技術研究所理事長

斎藤 孟（さいとう たけし） 1月2日 享年90歳
元会員（第16期） 早稲田大学名誉教授

萩原 宏（はぎわら ひろし） 1月8日 享年87歳
元会員（第16期） 京都大学名誉教授

大石 泰彦（おおいし やすひこ） 1月16日 享年91歳
元会員（第13-15期） 東京大学名誉教授

9 インパクトレポート

声明「科学者の行動規範－改訂版－」 インパクト・レポート

1 声明の内容

データのねつ造や論文盗用といった研究活動における不正行為の事案が相次ぎ、また、東日本大震災を契機として科学者の責任の問題がクローズアップされ、科学研究の利用の両義性の問題についても議論が行われたことから、今日的な課題を踏まえて審議を行い、既発出の日本学術会議声明「科学者の行動規範について」（平成18年10月3日）に記された「科学者の行動規範」を以下のとおり増補・改訂した。

- (1) 前文及び本文中に、社会的期待に応える研究、科学研究の利用の両義性、公正な研究、社会の中の科学、利益相反等についての法令の遵守に関する記述を加筆。
- (2) その上で、構成を「Ⅰ. 科学者の責務」、「Ⅱ. 公正な研究」、「Ⅲ. 社会の中の科学」、「Ⅳ. 法令の遵守など」に整理し、記述の整理と文言の加筆修正を行った。

2 声明の年月日

平成25年1月25日

3 社会的インパクト

(1) 政策

- ・ 文部科学副大臣を座長として文部科学省が設置した「研究における不正行為・研究費の不正使用に関するタスクフォース」の中間取りまとめ（平成25年

9月26日) (以下「中間取りまとめ」という。) においては、研究不正に関する研究コミュニティによる取組として、「日本学術会議が声明『科学者の行動規範—改訂版—』を策定」したことが挙げられ、「現在も行動規範の徹底をはじめ、研究不正の防止に向けた対応について検討が続けられており、国との間でも必要な連携を図ることが確認されている」と日本学術会議の取組が記されるとともに、今後に向けて「日本学術会議等とも連携した具体の倫理教育プログラムの開発、不正事案のアーカイブ化の実施・運用体制、『研究公正局（仮称）』のような第三者的監視組織の設置など」等が課題として挙げられた。

- ・ 文部科学省においては、上記の中間取りまとめを受け、「研究活動の不正行為への対応ガイドライン（平成18年8月8日科学技術・学術審議会研究活動の不正行為に関する特別委員会決定）」、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（平成19年2月文部科学大臣決定）」の見直しと、運用改善に向けた検討が進められている。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

- ・ 平成18年の声明「科学者の行動規範について」の発出以後、多くの学協会や研究教育機関において、その内容に準じた「行動規範」の制定が進んだ。また、多くの大学が本声明を学内の研究者に配布するなど、それらの組織において周知が図られている。

4 メディア

- ・ 科学新聞（平成25年2月15日）1面
- ・ 読売新聞（平成25年2月25日朝刊・地方版）1面
- ・ 読売新聞（平成25年2月25日朝刊）2面

5 考察と自己点検

- ・ 日本学術会議は、声明「科学者の行動規範—改訂版—」の公表後、行動規範が各機関で参照されるよう大学等の研究機関に同声明とパンフレットを送付し、さらに、学術フォーラムを開催して普及啓発に取り組んだ。行動規範の送付については、全国708の国公立・私立大学、及び国立大学協会・公立大学協会・日本私立大学協会・日本私立大学連盟に送ったほか、所管省庁を通じて97の国立研究機関（独立行政法人の研究機関を含む）に送付した。学術フォーラムは、平成25年2月19日、多くの学協会、大学等の研究機関関係者、一般参加者の来場の下、「『責任ある研究活動』の実現に向けて」と題して開催し、昨今の研究不正に対する取組状況等に関する講演とパネルディスカッションを行った。
- ・ 本声明公表の半年後には、相次ぐ研究活動における不正行為の発生を踏まえ、会長談話「科学研究における不正行為の防止と利益相反への適切な対処について」を公表し、同談話を受けて、新たに「科学研究における健全性の向上に関

する検討委員会」を設置して審議を行い、平成 25 年 12 月 26 日には、提言「研究活動における不正の防止策と事後措置 - 科学の健全性向上のために - 」を公表した。提言では、行動規範未整備の大学への声明「科学者の行動規範—改訂版—」の送付や日本学術会議地区会議学術講演会を通じた普及啓発、行動規範に基づく研修プログラムの作成及び各大学など研究機関における研修の必修化、競争的資金申請時等や競争的資金に基づく雇用契約時における行動規範教育既修の義務化、研究機関及び科学者コミュニティが組織的に行動規範教育に努めるべきこと、各大学等研究機関の行動規範教育の実施状況について調査、公表される必要があることを提起している。

- ・ こうした中、国、学協会、研究教育機関においてそれぞれ行動規範の普及啓発に関する取組が検討され、一定の成果が出始めている。日本学術会議における取組とともに、こうした関係諸機関における取組が今後もより一層広がりを見せ具体化していくよう期待する。

インパクト・レポート作成責任者
日本学術会議改革検証委員会
委員長 大西 隆

提言「いのちを育む安全な沿岸域形成の早期実現に向けた災害廃棄物施策・
多重防御施策・生物多様性施策の統合化の緊急提言」
インパクト・レポート

1 提言内容

被災地における流域自然共生系の特質を生かし、「災害廃棄物の処理・活用」、「多重防御の施策」、「生物多様性施策」の統合化を行い、復興の前提となる「いのちを守る沿岸域の形成」を速やかに実施に移す。この実現に向けて、省庁間における調整、法、技術指針の見直しを早急に行い、復興予算の中で位置づけのない災害廃棄物を活用した丘、新たな防潮林（国有林以外の地域）、地域の文化的景観をも構成している居久根等の整備、沿岸生態系の保全と再生等について、財源の確保を行う。

2 提言の年月日 平成 24 年 12 月 5 日

3 社会的インパクト

(1) 政策：災害廃棄物を活かした多重防御施策が、実施に移された。

しかしながら、沿岸域の生態系を活かした計画とは、なっていないため、

提言のフォローが必要である。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

宮城県、被災市町村が、減災対策として採用している。

静岡県、高知県南国市などが、事前復興の参考としている。

4 メディア

なし

5 考察と自己点検

被災地の復興が見えない中で、この瓦礫を活かした丘の整備は、多くの社会的反響をよび、日本全国から、多くの人びとが植樹におとずれた。

また、国有林の再生事業についても、災害廃棄物をいかした工法が採用された。しかしながら、現地では、海岸生態系に配慮した森の再生は、行われていない。これは、どのような海岸林を再生していくかという指針が不在であることによる。日本学術会議環境学委員会は、この問題に答えるために、2012年より、海岸林の生態系調査を行ってきた。この成果をふまえて、沿岸域の生態系を踏まえた今後の海岸林の在りかたについて、緊急提言を行う予定である（2013年12月を予定）。

インパクト・レポート作成責任者
環境学委員会委員長 石川 幹子

提言「「ひと」と「コミュニティ」の力を生かした復興まちづくりの
プラットフォーム形成の緊急提言」
インパクト・レポート

1 提言内容

被災地を特色づける長い歴史に裏打ちされた地域コミュニティの再生にあたっては、住民が自ら復興に責任を持ち、地域コミュニティの持続的維持に寄与しうる体制を作り出す必要がある。そのためには計画実現のプロセスを地域コミュニティレベルで行う必要があり、行政と住民の共同の責任で実現していく場としての「復興まちづくりプラットフォーム」の形成が必要である。また、失われた自然と地域の人たちの関わりについての聴き取りによるアーカイヴの作成と復興計画への展開が重要である。復興庁は、このような東日本大震災復興における「地域コミュニティ」の真の役割を、十分に認識し、画一的ではない地域特性に応じた復興予算の配分の検討を行うべきである。

2 提言の年月日 平成24年12月5日

3 社会的インパクト

(1) 政策：コミュニティを軸足とする復興まちづくり協議会が、各地で立ち上がってきている。しかしながら、その実態は千差万別であり各種事業が本格的に展開されつつある現在、実情の詳細な調査を行い、地域特性に応じた支援が必要である。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

宮城県庁および、宮城県・岩手県の被災市町村のヒアリング（日本学術会議災害に強いまちづくり分科会：2013年6月―8月実施）において、各自治体がコミュニティを軸とした復興を重視し、政策に移していることが改めて明らかになった。

4. メディア

- ・コミュニティ復興の事例として岩沼市の復興まちづくりの記録を NHK が継続的に撮影、記録している。
- ・平成25年6月4日、11日 日本テレビ NEWS ZERO 岩沼市復興まちづくりとコミュニティについて放送。

5 考察と自己点検

コミュニティが復興の主演となり、重要であることは、多くの自治体、被災者の共通の理解であるが、コミュニティ自体が多様であり、また、崩壊の危機に瀕しているコミュニティが数多くある。地道な努力を続けているコミュニティがある一方で、今後は、仮設住宅から新しいコミュニティに移った時の、社会的仕組みをどのように構築、支援していくかという新たな課題が浮上している。

インパクト・レポート作成責任者
環境学委員会委員長 石川 幹子

提言「地質地盤情報の共有化に向けて―安全・安心な社会構築のための地質地盤情報に関する法整備―」

インパクト・レポート

1 提言内容

- ・地質地盤情報に関する包括的な法律の制定。
- ・地質地盤情報の整備・公開と共有化の仕組みの構築
- ・社会的な課題解決のための地質地盤情報の活用の促進と国民の理解向上

2 提言の年月日 平成25年1月31日

3 社会的インパクト

(1) 政策

現時点では特になし。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

平成25年7月18日、本提言の発出を受けて、地質・地盤に関する学協会・業界が中心になり、「地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会」が設置された。本協議会は、産学が連携して地質・地盤情報の整備及び活用促進に関する法整備についての提言、推進を行い、国民の安全で安心な暮らし、強靱で活力ある社会・国家の構築と発展に寄与することを目的としている。また、本協議会では法整備に向けて、地方自治体・企業代表者・有識者等に趣旨を説明し社会に対して広く後援を求め、法整備の実現を目指している。

【協議会 HP】 http://www.zenchiren.or.jp/suishin/suishin_index.html

4 メディア

(1) NHK 名古屋放送局

NHK テレビ「クローズアップ現代」の地質・地盤情報に関する番組企画の相談（継続中）。

(2) NHK 仙台放送局

「提言の趣旨と目的について」（平成25.9.25）の問い合わせ

5 考察と自己点検

国民の暮らしの安全・安心の確保と国土強靱化、社会・経済の持続的発展のためには、日本の国土を構成している地質・地盤の状況を調べることは、本提言を受けて設置された「地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会」の設立に賛同した団体など関係者では広く理解されているものの、現段階では行政への働きかけが充分ではない。広く社会に向けた発信の努力がさらに必要である。趣旨に賛同する社会的影響力のある後援者・団体を募り具体的な法整備に向けた活動を継続し、来年前半に日本学術会議等でのシンポジウム等を計画する。

インパクト・レポート作成責任者
地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会地質・地盤情報小委員会
委員長 佃 栄吉